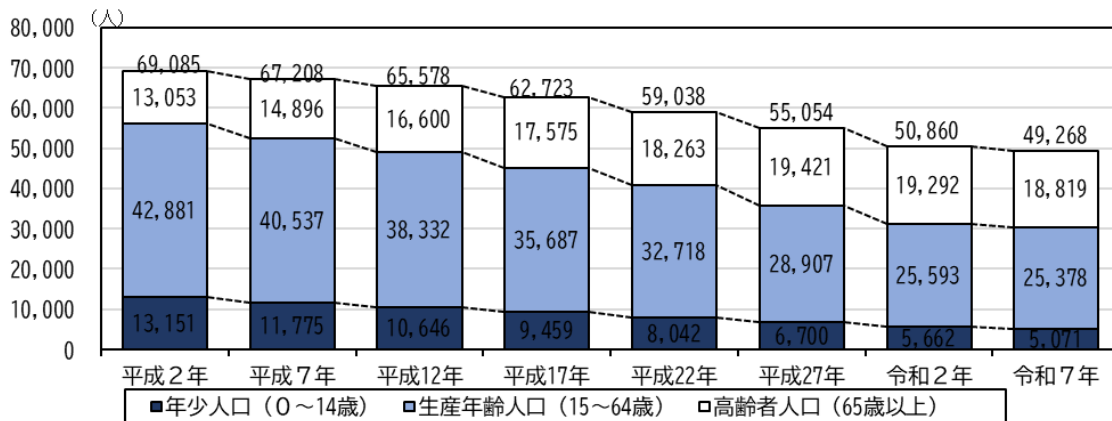


統計データに基づく京丹後市の状況

1. 人口の状況

平成 2 年から令和 7 年にかけて総人口は減少し、令和 7 年は 49,268 人となっています。65 歳以上が増加して高齢化率は 38.2%に達する一方、15～64 歳の生産年齢人口は減少しています。

■年齢 3 区分別人口の推移

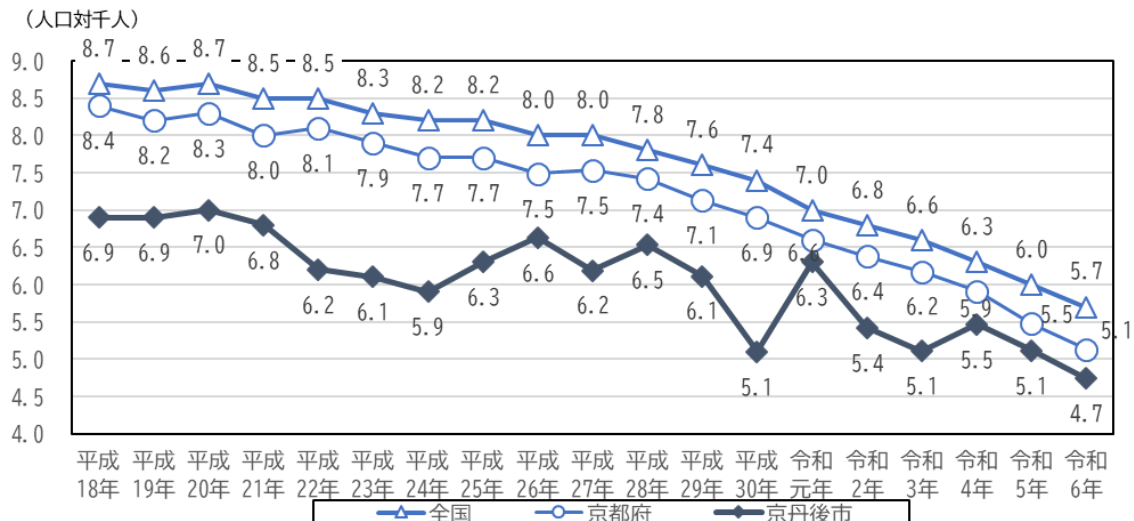


資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）、京丹後市推計人口（令和 7 年 9 月末現在）
 ※総人口には年齢不詳人口も含むため、年齢内訳の合計に一致しません。

2. 出生率の状況

出生率の推移をみると、全国・府の水準より下回って推移しています。京丹後市は近年増減を繰り返しているものの、平成 20 年以降は減少傾向にあります。

■出生率の推移

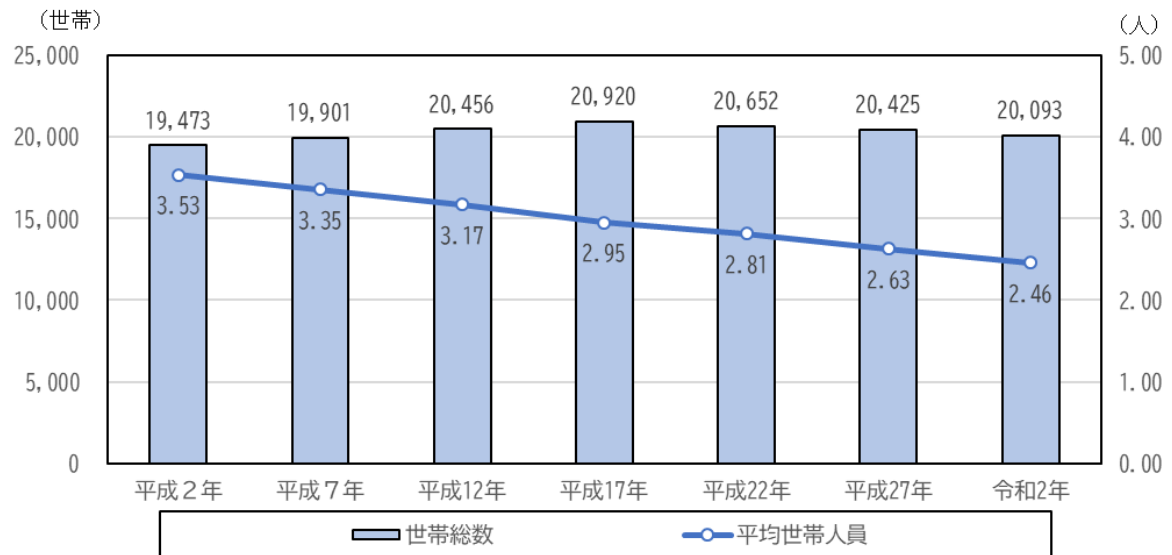


資料：住民基本台帳人口（各年 1 2 月末人口）、京都府人口総数、人口動態調査、住民基本台帳に基づく人口動態調査より算出
 ※出生率：人口1,000人あたりの1年間の出生児数の割合

3. 世帯の状況

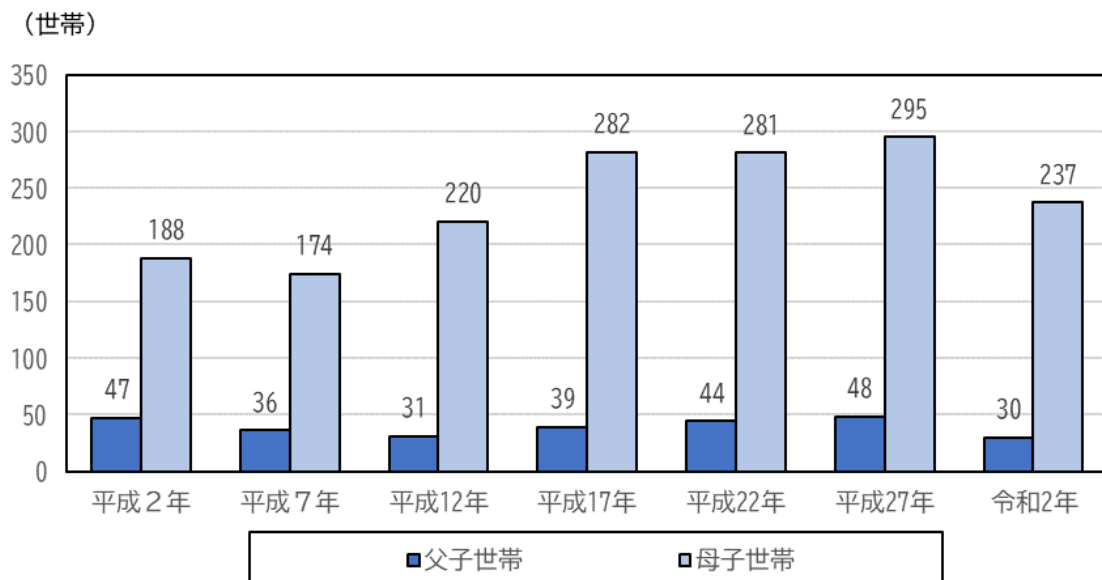
総世帯数は概ね横ばいで推移する一方、一世帯あたり人員数は減少が続き、世帯規模の縮小が進んでいます。父子・母子世帯は増加傾向でしたが、令和2年には減少傾向がみられます。

■総世帯数及び平均世帯人員の推移



資料：令和2年国勢調査

■母子・父子世帯数の推移

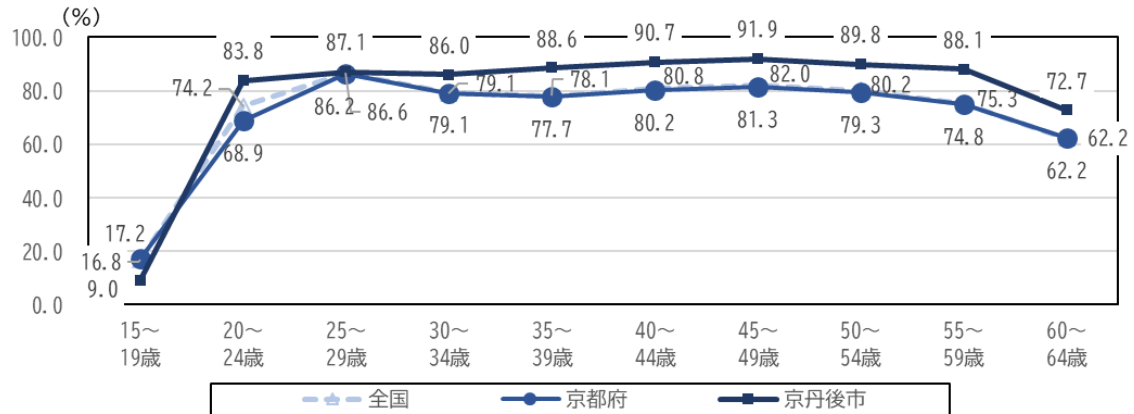


資料：令和2年国勢調査

4. 女性の労働状況

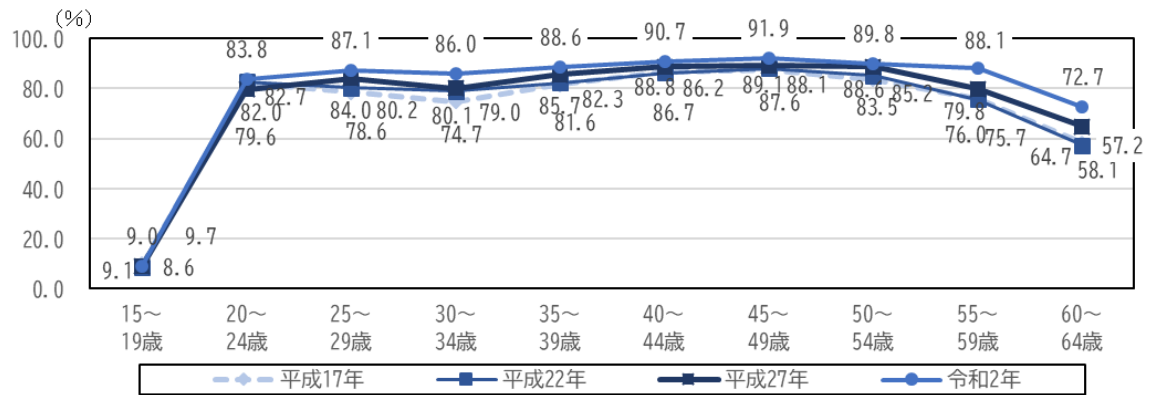
女性労働力率は、30～34歳で低下する「M字カーブ」を示しつつも全体としては概ね横ばいです。全国・京都府より20歳以降の水準が高く、平成17年～令和2年の比較では「M字カーブ」が以前より緩やかになっています。

■女性の年齢階級別労働力率の比較（令和2年、全国・京都府・京丹後市の比較）



資料：令和2年国勢調査

■京丹後市における女性の年齢階層別労働力率の比較（平成17・22・27年、令和2年）



資料：令和2年国勢調査

※労働力率：生産年齢（15歳～64歳）人口に占める労働力人口（就業者+完全失業者）の割合